

看護師の活躍

私は、看護師経験9年目に入社しました。初めは、限られた時間の中でケアし次に移動すること、病状変化時に遭遇した時にどう対応したらいいかなど考えると、一人で訪問することに不安を感じていました。病院であればすぐに対応できるし、対処後も少し時間をおいて様子を見に行くこともできます。しかし、些細なことでも聞きやすい環境、困った時もすぐに的確なアドバイスをくれる上司や先輩がいたので、そんな不安もいつのまにか解消できていました。今では、その人の生活の場、住み慣れた家でじっくり話を聞き、その環境にあった看護を行うことができる所に、病院とはまた違った楽しさを感じています。また「来てくれて嬉しいわ」や「顔を見ると安心するのよ、いつもありがとね」などの感謝の言葉を頂くと、素直に嬉しくやりの気持ちも感じ、イキイキと働くことができています。

あと、転職する際に気になるのは「職場の雰囲気」です。弊社は明るく、楽しく、アットホームな感じなので、全く心配はありません！休みも完全週休二日制で、残業は少なくフレックス制度も使用できず。プライベートな時間が確保しやすいところも魅力だと思います。こんな環境でぜひ一緒にイキイキと働いてみませんか？

(6年目の現場より)

看護師

永田 沙弥香
2017年4月入社
奥沢 訪問看護師



訪問看護を始めてから、足の爪切りやウオノメ・タコなどの処置に困っている方の多さに驚きました。先輩ナースから教わりながらそれらの処置を行っていました。が、「もっと専門的な知識や技術を学びたい」と思い、社内のメディカルフットケアの研修コースに参加することにしました。

研修は爪切りやウオノメ・タコなどに対する技術指導の他に、足の解剖学的な知識、歩行の局所的な理解、そして靴の選び方など幅広い講義があり、アットホームな雰囲気です。楽しく学ぶことができました。ただ皮膚や爪のケアをすればいいと思いがちですが、その方を全体的にみて、『なぜそのトラブルが起きてしまうのか』を考えてアプローチし、ケアや提案をして再発の予防に努めていくことが大切なのだと思ってきました。

以前勤務していた病院ではゆっくりと足のケアができる時間はありませんでしたが、現在は訪問看護の一環としてメディカルフットケアを積極的に導入しています。実際にケアを行った後は、「ご利用者様から「さっぱりして気持ちいい」「痛みが減った」などお言葉をいただくことも多く、やはり励みになっていきます。これからはメディカルフットケアを通じて少しでも気持ち良く生活できたり、安全に歩いたりできるお手伝いができたらいいなと思っています。」

(8年目の現場より)

メディカル
フットケアナース
立花 祥子
2015年4月入社
用賀 訪問看護管理者



結婚、妊娠・出産を経て今年の4月に育休から2回目の復職をしました。

1回目の復職時、自宅での子育てから解放されることが楽しみでした。しかし子育てや家事と仕事を両立できるかは、不安でした。また復職直前に医療・介護の法制度の同時改定があったため、不安に拍車がかかりました。

いざ復職してみると、休職前の感覚に戻るまで時間を要したものの、職場のスタッフや上司に相談する事で、ほどなく不安を解消しながら業務を行えるようになりました。残業ができません、業務も周りのスタッフに協力を求める事も多いのですが、それも快く引き受けてくれるスタッフたちに支えられています。

弊社では時短勤務の制度も利用できます。私の場合、最初の2カ月は2時間、その後は1時間の時短勤務に変更し、事務的業務や訪問をこなしてきました。保育園の送迎時間や年齢に合わせ、勤務時間を短縮できるのは子育てをするのにとっても助かっています。

職場の理解が無くては、難しい仕事ではありませんが、スタッフの協力と理解のおかげで笑顔で保育園の送迎ができています！

(12年目の現場より)

育休復帰ナース

岩崎 かず美
2011年4月入社
2022年4月復職
本部 訪問看護師

